



かいっばい

豊田市立則定小学校

学校だより No.23

令和6年3月4日

則定小学校ホームページ



皆さんは、学芸会や運動会などの前にどのくらい練習していますか？僕は5年生の頃にあったラムサール条約記念シンポジウムの前と後で練習に対する意識が変わりました。

ラムサール条約記念シンポジウムの会場はとても大きく、見ている人もたくさんいました。僕は、今まで経験したことのないほどの緊張でとても不安でした。でも、たくさん練習していたおかげで自信を持って発表できました。このことからしっかり練習しておけば不安でも自信をもてることを学びました。

六年生になって早速この経験を生かすことができました。まずは、運動会です。応援合戦の振り付けを考えて下級生に教えるために踊りの練習をたくさんしました。下級生にうまく教えることができて本番も大成功でした。

次に経験を生かしたのは、学芸会です。僕は、重成の役をやりたくてオーディションの前日に何度も何度も練習をしました。そして重成の役を勝ち取りました。重成のセリフは、僕にとって多くて大変でしたが、本番でも成功させるために、練習をさらに頑張りました。その結果、特に切腹するシーンのセリフに重成の「魂がこもっていた」とみんなに言うてもらうほどうまく演技ができました。

これから、中学校でも大事な場面が出てくるとありますが、成功させるために練習することを積み重ねていきたいです。

また、則定小学校に残る下級生の皆さん。スピーチや運動会、学芸会などでは、不安に思うことや緊張することがあると思います。そんなときは、ぜひ一生懸命練習してみてください。不安や緊張が減り、自信をもてると思います。来年からも頑張ってください。

聞いてほしいこの思い

6年生が卒業を前にした自分の思いを全校児童に伝えています。1～5年生に語りかける6年生。6年生の話に真剣に耳を傾ける1～5年生。思いは引き継がれていきます。

みなさんはみんなで協力することは大切だと思いますか。運動会の前、僕は、自分一人でみんなをまとめ、運動会を成功させることができると思っていました。でも今は、自分一人だけの力には限界があり、みんなで一丸となり、協力することがとても大切だと思っています。

運動会の応援合戦のダンスの振り付け決めの時、ダンス動画を参考にしながら振り付けを決めていました。しかし、歌詞やリズムに合わせたり、下級生が踊れるかななどを考えたりしているとなかなかアイデアが思い浮かんで来ません。そして、振り付けが全然決まらないまま5年生との練習が始まってしまいました。すると、5年生が振り付けのアイデアをどんどん出してくれて、ダンスの振り付けが完成しました。そのときに、僕は、みんなで協力して物事を決めていくことの大切さに気付かされました。

そして、全校練習が始まりました。そのときに振り付け決めて学んだことを思い出し、高学年で協力して下級生にダンスを教えることにしました。すると、みんなが、どんどんダンスを覚えていき最後まで踊れるようになりました。そして、ダンスをより良いものにするために、団の全員で掛け声やステップなどを新たに考えダンスに取り入れました。全員で協力することで、一つのダンスを作り上げることができました。そして、本番には最高のクオリティのダンスを踊ることができ、白組に勝つことができました。そして、みんなの力で運動会を成功させることができました。

運動会を通して、僕は、自分一人だけの力には限界があることや、みんなで一丸となり、協力することの大切さを学びました。

中学校では、みんなと別れてしまいましたが、他の友達と協力して学校生活を全力で取り組んでいきたいです。

また、則定小学校に残る下級生の皆さんも、何か困った時に一人で解決するのではなく、友達と協力したり、先生に相談したりと、みんなで協力し、学校生活を送ってほしいです。





みなさんはマラソン大会で、どんな事を感じましたか。私は頑張る事、褒める事、褒め合う事の素晴らしさに気づきました。

私は、六年間で初めてマラソン大会に出場しました。練習の時は、途中で止まってしまいました。止まった後、最後までゴールできなかったことが悔しくて、泣いたこともありました。小学校生活最初で最後のマラソン大会なので、本番では、頭が痛くても、体がしんどくても、絶対に最後まで諦めずゴールしたいと思いました。

本番では、緊張で足が震えながら走りました。ラスト一周になった時、則定こども園の手前あたりから足の感覚がなくなりました。そしたら、疲れもなくなり、早く走れるようになりました。ライバルのりんさんが前にいました。小学校のマラソンは、最初で最後なので、悔いがないマラソンにしたいと思いました。最後まで思いっきり走りました。女子の中で一位でした。すごく嬉しかったです。

ゴールした後、りんさんは「悔しい」と言っていました。りんさんは悔しいのに、私に、「頑張ったね」と言ってくれました。頑張って良かったなと思えました。私もりんさんに「頑張ったね」と言いました。二人でお互いの肩をなで合いました。自分頑張ったと自分をほめました。初めてのマラソン大会で、不安だったし、足がふるえるくらい緊張したけど、あきらめないでゴールできました。「褒め合うこと事」「ちょっとでも頑張る事」「少しでも自分の頑張りを自分で褒めてあげる事、思っあける事」は、とても大事なことで、大切に素晴らしいことなんだと改めて実感しました。

中学校に行ってもこの素晴らしさを忘れず、この経験を生かしていきたいです。

みなさんも最後まで何事も諦めず頑張ってください。

皆さんが今年がんばったことはなんですか。私が六年生で頑張ったことは、外国語の勉強です。外国語は一年生から勉強していますが、だんだんと難しくなってきました。六年生の外国語の中でも、特に頑張ったことが二つあります。

一つ目は、授業の初めに毎回行う質問です。外国語の授業では、授業の初めにペアで天気や日にちについて質問します。質問するときは、黒板に質問の内容が書いてありますが、発音の仕方が分からず大変でした。答えるときは、毎回違う答え方になるので、なんて言うのか分からず大変でした。でも、毎回の授業でしっかりと繰り返していると、少しずつできるようになってきました。

二つ目は、単元の終わりに行うスピーチです。単元の終わりにになると、その単元で学習したことを使ってスピーチをします。スピーチでは、文章を考えることや覚えることが大変でした。分からないときは、先生に聞いたり、インターネットで調べたりして文章を考えました。特に印象に残っているスピーチは、小学校の思い出を伝えるスピーチです。修学旅行の思い出について、英語で発表しました。

外国語の勉強は、大変だったことばかりではなく、楽しかったこともあります。消しゴムを取るゲームで単語を覚えたり、英語の歌で英語の文を覚えたりすることはとても楽しかったです。

外国語の勉強は中学校になっても続くので、小学校での勉強を生かして頑張っていきたいです。



2月29日（金）に6年生を送る会を開きました。1～5年生が、お世話になった6年生を喜ばせようと、工夫を凝らした出し物を披露しました。一緒に過ごすことができる時間もあとわずかです。

